

古い建物も構造から直します

表面的なお化粧工事は簡単ですが、それでは建物は長持ちしません。当社では、可能な限り建物の骨格からきっちり直すことをお勧めしています。

まず、新建材などで、継ぎはぎに改修された部分を全て撤去したうえで、躯体を建ったときの状態に戻します。傾いた柱は真っ直ぐに。下がった壁は元通りに。そして傷んだ柱や梁は根継や入替をします。こうしてきっちりと矯正すれば、建具の建て合せや家具の設置も簡単ですし、断熱・気密も求める水準に上げることもできます。地震のときも安心です。目に見えないところですが、引っ越してからではできない部分です。お住いを長持ちさせるためにも、是非ご検討ください。



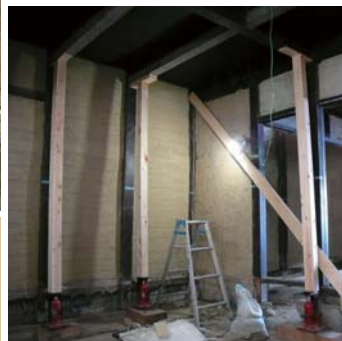
梁入替：蟻害のため、強度のない梁は入替。



← 根継ぎ：写真は金輪継ぎ。



揚げ前：腐朽のため沈下した柱を元の状態に。



↑ (上下)
基礎補強：工事後は地盤が下がらないように補強。一つ石も根巻き。

↑
イガミツキ：
100年近くかけて傾いた建物をケンドで突いて起こす。



柱繋ぎ：柱と柱の足元を ↑ 繋いで地震対策を施す。